

総看だより

vol. 7

2018年8月8日

会長挨拶 会長 青山 礼子(第二看護科 第13回生)



愛知県立総合看護専門学校同窓会会員の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、鈴江前会長から後任に選任されました青山礼子です。

6,000名という多くの同窓会会員を持ち、現在多方面でご活躍されている諸先輩方がいらっしゃる中、会長としての責任の重さをひしひしと感じています。

愛知県立総合看護専門学校卒業が看護職として誇りを持ち、少子超高齢化の進む中、社会貢献をしていくため、同窓会のネットワークプロジェクトを検討しています。その第一歩として今年度からは新卒の方の中から同窓会役員を選出いただいています。また現場では、新卒者を迎え、同志として温かく見守り、共に成長していきたいと思っています。3年後には創立50周年を迎え、今後の同窓会の活性化を図るために役員一同精一杯努めてまいります。皆様からの忌憚のないご意見やご協力をお願いいたします。

学校長挨拶 学校長 都築 三幸



同窓会会員の皆様、残暑お見舞い申し上げます。

私は、平成30年4月に学校長に就任し、早くも5か月目となります。

本校は、昭和46年に開校し、平成33(2021)年には50周年を迎える予定です。これまでに約8,000人の皆さまがこの学校を巣立ち、卒業

生の多くは県内の保健・医療・福祉の場で活躍され、中には、海外に活躍の場を広げている卒業生もいます。

一方、看護研修センターは平成15年度に開設し、県内の看護職員の質向上や潜在看護師の再就業の促進等を推進してきました。今年度は教務主任養成講習会を始め、看護基礎教育の充実、施設内教育の支援及び再就業支援を目的とした12の研修を開催しています。

さて、現在、日本では2025年に団塊の世代が75歳以上となるのを見据え、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう「地域包括ケアシステム」の構築を推進しています。

また、看護基礎教育においては、カリキュラムの改正に向けた検討会が立ち上がり、教育内容の見直しが始

まっています。

本校では、自ら学び成長できるようプロジェクト学習を看護学実習に取入れるとともに、シミュレーション教育等、より学習効果の高い教育方法を活用し、これからの看護師に必要な能力の育成に努めています。

同窓会の皆様には、今後も第一看護科へのご支援をお願いすると共に、看護研修センターを活用していただくようお願い申し上げます。

最後に、皆様のますますのご健勝とご活躍を心よりお祈りいたします。



平成30年度同窓会総会ご案内

日時 平成30年11月17日(土) 午後1時から

場所 ハートフルキッチン・マロン

名古屋第二赤十字病院内 第二病棟6階
名古屋市昭和区妙見町2-9 TEL (052)832-1121

タイムスケジュール

12:30~13:00▶受付 13:00~13:45▶総会
13:45~14:00▶休憩 14:00~15:00▶懇親交流会
(立食パーティー・近況報告)

総会后、懇親交流会を兼ねた立食パーティー・近況報告を行います。会費1,000円です。

※公共交通機関をご利用し、お出かけください。※ご出席される方は返信はがきにてお知らせください。ご参加お待ちしております。

挑戦している私たち

臨床で楽しく学べるように

名古屋第二赤十字病院
宮谷 里奈 (第一看護科 第39回生)



私は名古屋第二赤十字病院で働き6年目になります。教わる立場からいつの間にか教える立場になり、現在は学生指導を担当しています。まだ

始めたばかりで手探りの状態ですが学生が楽しく臨床で学べるように頑張っています。私もそうでしたが、学生にとって実習は辛くて大変なイメージがあると思います。今指導者の立場になり、そのイメージを少しでも払拭出来ればいいなと思っています。

その方の物語を大切に

株式会社サンケア ほのぼの愛西居宅
坂野 洋子 (第二看護科 第10回生)



Sさんは、パーキンソン病の奥さんを20年介護され、その間、何度も介護放棄や、クレームに走りました。奥さんが亡くなったのち、最期まで自宅で介護できた満足と誇りに満ちた表情をみせてくださいました。

私は、ケアマネージャーとして仕事をしています。Sさんのような老老介護の方や難病の方等いろいろな方がおられますが、その方々の人生は様々です。各々の方の人生に寄り添うことができるよう、今後もその方の物語を大切に支援していきたいと思っています。

将来は周産期医療に

聖霊病院
山田 佳歩 (第一看護科 第44回生)



4月にNICU病棟に入職し、慣れない環境での時間はあっという間に過ぎていきました。優しい先輩方や同期に恵まれ、沢山のことを学ばせて頂きました。始めは業務に追われていました

が、今は技術や知識の向上は勿論、患児やその家族に寄り添うとはどういうことか考えながら自分の看護観を深めていくことが目標です。また、将来は助産師資格を取得し助産師としても周産期医療に関わっていきたいと考え、今は専門学校合格のため受験勉強に挑戦しています。

今チャレンジしていること: 受験勉強

韓国と日本のかけ橋に

株式会社 栖のき 代表取締役
篠原 宏翠 (臨床看護学第二科 第9回生)



現在、国内で訪問看護ステーションを運営し、今年で6年目を迎えました。日本での実績を基に、隣国である韓国に目を向け、指導しはじめています。日本との違いは、多々あり、難しさは感じていますが、看護師であることでの思いやりの心や、ホスピタリティは、各国共通であり、少しずつですが、手ごたえを感じています。

私の会社を通じ、韓国と日本のかけ橋となればよいと思っています。



同じ現場は二度とない

日本医科大学千葉北総病院
重山 香織 (第四看護科 第31回生)



2003年卒業後、地元である飛騨高山の総合病院へ就職しましたが、救命救急への興味と憧れが強く、2009年日本医科

大学千葉北総病院へ転職。それまでの経験知とは全く異なる救急現場で叱咤激励されながら、4年間の初療経験を経てフライトナースの夢を叶えることができました。現在までに600回を超えるフライト経験を積みましたが、同じ現場は二度となく、毎回ベストな活動ができていたのかを振り返ります。この先も常に挑戦し続ける看護師でありたいと思います。

既存や流にとらわれず

社会医療法人杏園会上林記念病院
池田 成幸 (第四看護科 第16回生)



民間→公立→民間と経験し、唄って踊れる看護師を目指していましたが、そうも行かず看護部長の大役を担っています。11年目となりますが、当初より既存スタイルや流行にとらわれない

行動を模索しています。役職スタイルも、周囲の反対をよそにプレイングマネージャーとして活動し、私を必要としてくれている人々の声を直接聴き、改善に繋がりたいと考えています。おかげで、高校生の頃と変わらぬ体型維持ができ、メタボには無縁です(笑)

患者さんの思いを大切に

愛知県がんセンター中央病院
朝井 哲也 (第一看護科 第42回生)



愛知県がんセンター中央病院に就職し3年経ちました。入職当時は何もわからず不安の中での仕事でしたが、現在では知識と経験から患者さんに何が必要なのかを考え、自分なりに寄り添った関わりができるようになりました。時には患者さんとの会話や笑顔に癒されながら、大変な日々でも楽しく働かせていただいています。患者さんの治療に対する思いは人それぞれです。その思いを大事にした看護ができるよう、これからも日々努力していきたいと思っています。

セカンドキャリアスタート

一宮研伸大学
鈴江 智恵 (臨床看護学第一科 第5回生)



私は2017年3月に病院を定年退職し、4月には新設大学の一宮研伸大学で基礎看護学の教員としてセカンド・キャリアをスタートさせました。看護管理をするなかで、看護職がい

きいき働き続けられる組織づくりの必要性を強く感じていたことから50歳を過ぎて大学院で学びました。大学教員としては「ひよっこ」の私ですが、大学がもつ「教育、研究、地域貢献」を自分のペースでじっくり考えながら、楽しく過ごしていこうと思っています。

看護の力を結集した 性暴力被害者支援

性暴力救援センター日赤なごやなごみ
センター長 片岡笑美子



愛知県立総合看護専門学校設立以来、卒業生の多くが名古屋第二赤十字病院に就職し、2018年4月現在、259名の看護師が頑張っています。諸先輩の力で看護の基盤を構築したと言っても過言でなく、私も現役時代、皆さんに助けられました。この場をお借りして、感謝申し上げます。今は2016年1月に開設した性暴力救援センター日赤なごやなごみで性暴力被害者支援看護師(SANE)として活動しています。なごみは性暴力被害に遭った直後から医療支援、

心理的支援、法的支援、生活支援などを可能な限り1カ所で提供する。被害の潜在化の防止やダメージからの回復につなげていく24時間対応の病院拠点型ワンストップ支援センターです。性暴力被害者に寄り添いながら被害状況を把握し、証拠採取、望まない妊娠の防止や性感染症の確認、心理的支援などを行っています。看護の力を充分発揮できる新しい看護の分野に取り組んでいます。

総合看護専門学校の思い出

臨床看護学第一科 第6回生 江口八代美



入学試験受験のため初めて愛知県立総合看護専門学校を訪れてから、40年ほどが経ちました。受験の時は愛知県立総合看護学院でしたが、入学式で学校教育法の一部改正に伴い名称が変わったことを知り驚きました。学生時代は保健科、臨床看護学第一科、第二科、第三科、第四科があり、学校祭など科を越えて委員を中心に盛大に行われたことを思い出します。当時隣地にJR東海八事球場があり、JR東海硬式野球部練習場で試合もよく行われ、講義中にウグイス嬢の声が聞こえていました。平成2年に閉鎖され、現在は大きなマンションが建っています。また、学校の寄宿舎も平成4年に廃止されました。同じこの平成4年に入学定員増に伴い、ピンクと

グレーの壁が印象的な北講義棟が増設されました。卒業後の経年で学校周辺、学校内に変化はありましたが、総合看護専門学校で修得した看護の知識、技術、態度はずっと私を支えてくれました。看護に求められる役割は学生時代の学びから変わり、看護師としての仕事の可能性が大きく広がっています。そんな中でも看護の基本となるものは不変であろうと思います。私にとっては総合看護専門学校での学びが基本であり、今後も看護について考えていきたいと思っています。愛知県立総合看護専門学校同窓会のますますのご発展をお祈りいたします。

同窓会からの お願いと お知らせ

- 同窓生を探しています。総看だよりがお手元に届かず学校に戻ってくるものが多数あります。お知り合いの同窓生で卒業時の住所から移転され、総看だよりが届いていない方がいらっしゃいましたら、愛知県立総合看護専門学校の同窓会事務局に連絡をいただけるようお伝えください。
- 平成30年10月27日(土)に学校祭が開催されます。同窓会は「卒業生による相談コーナー」を開催します。県内の病院・施設で働いている同窓生が学生の学業や就職、学校生活の悩み事の相談に乗っています。

在学生は、夏休み前からクラスイベントや模擬店の準備をします。ぜひ後輩の活躍を見に、総合看護専門学校にお出かけください。

- 平成30年11月17日(土)には、同窓会総会が開催されます(詳細についてはP1をご覧ください)。今回も懇親交流会を兼ねた立食パーティーを行います。ぜひ、同窓生の皆様にはご参加していただき、近況をお聞かせください。お会いできるのを楽しみにしています。



看護職が生き生きと輝き続けるための〈看護の広場・PlatzNurse〉

同窓会会員の皆様、こんにちは。

会報の紙面をお借りして、NPO法人〈看護の広場〉が運営する看護職応援サイトシステムPlatzNurseをご紹介します。

私は、総合看護専門学校で通算24年間教育に携わり、平成21年3月に学校長を退職しました。その後、愛知県看護協会長として多くの施設の看護職の方々や他職種の方々と接する中で、これからの地域医療を支えていく看護職にとって、看護職相互の連携を深め、お互いを高め合い、支え合うことの必要性を痛感しました。

そこで、看護職への情報提供と看護職の連携・協働に資するためのサイトシステム〈看護の広場・PlatzNurse〉の

運営を平成29年4月からスタートし、平成30年3月末には、より使いやすく、よりお役立ていただけるよう全面的にリニューアルしました。本サイトでは、看護・医療に関する記事、看護職を応援してくださる医療施設や企業からの情報をお届けするほか、登録メンバー同士で意見交換できるフォーラムなども準備しています。愛知県看護協会の公式広報サイトとしても活用されています。

私たち看護職がPlatzNurseを介して結束し、情報を共有し、共に可能性を高めていきましょう。ぜひサイトをご覧ください。

同窓会の皆様のメンバー登録を心よりお願い申し上げます。

profile

特定非営利活動法人 看護の広場
理事長 中井 加代子

日本看護協会監事
愛知県看護協会前会長



看護職のWORK&LIFE応援サイト
Platz Nurseのメンバー登録受付中!

登録は無料!



特定非営利活動法人
看護の広場
PlatzNurse

<https://kangonohiroba.net/>

☆愛知県ナースセンターからのお知らせです☆

～看護の資格を生かして自分らしく……～



愛知県ナースセンターをご存知ですか？

愛知県ナースセンターは、愛知県看護協会が愛知県から委託を受けて、看護職をサポートするためのさまざまな事業を行っています。

就職の相談、職場の悩み相談、研修会の開催等、皆様の想いに寄り添って「看護職の総合拠点」となるべく、活動しております。

2015年10月に始まった看護師等の届出制度も2年半が経過しました。ナースセンターは、届出情報をもとにそれぞれの状況に応じて、復職に向けた研修の案内や無料の職業紹介、相談員によるアドバイスや情報提供などの支援を

行なっています。2018年3月末現在 3,875名の届出があり、その中で約10%の方が復職しています。

看護職の皆様とナースセンターがつながりを持ち続け、切れ目のないキャリアが積み重ねられるよう、これからも取り組んでいきたいと思っております。

～どうぞお気軽にご相談ください～



看護師等の届出サイト
「とどけるん」

<https://todokerun.nurse-center.net/todokerun/>



公益社団法人愛知県看護協会
愛知県ナースセンター所長
江上 菊代

公益社団法人愛知県看護協会

愛知県ナースセンター	〒466-0054 名古屋市昭和区円上町26番15号 愛知県高辻センター 1階 TEL (052) 871-0600 FAX (052) 883-3686
愛知県ナースセンター 名駅支所	〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目4-38 愛知県産業労働センター (ウイングあいち) 17階 TEL (052) 433-1173 FAX (052) 433-1175
愛知県ナースセンター 豊橋支所	〒440-0888 豊橋市駅前大通2丁目33番地の1 開発ビル 4階 TEL (0532) 52-1173 FAX (0532) 52-1166

同窓会の活動・学校の近況をお届けします

第一看護科第45回生の卒業式

平成30年3月7日(水) 第一看護科第45回生の卒業式が行われ、121人の学生が当校を巣立っていきました。全員が国家試験に合格し、就職した学生はそれぞれの施設や病院で、4月から看護師として働き始めています。当校の実習施設に就職した卒業生も多く、教員が実習指導で病院に訪れた時、患者さんに丁寧に清潔ケアを行っている場面をみる事ができました。また、仕事の帰り道や休みの日に図書室を利用しに訪れて、近況を報告してくれる学生もいます。皆、新しい環境に戸惑いつつも看護師として一歩ずつ歩き始めていて、教員としてはうれしく感じています。

今年も卒業式に同窓会から花束を贈らせていただきました。式典の中で会長から卒業生の代表に渡された花束は、クラス毎の記念撮影でも使われました。下の写真は、その記念撮影の準備をしているところです。ちなみにバックにある青い幕は同窓会から創立40周年記念(平成23年)として寄贈されたものです。



平成29年度(平成30年3月、第45回生)卒業式

平成29年度 学校祭



平成29年10月28日(土) 学校祭が行われました。雨が降る少し肌寒い日でしたが、家族及び地域住民、卒業生の332名の方が来校されました。同窓会は役員とボランティアの方々に「卒業生による相談コーナー」「コーヒー等のドリンク販売」「パターゴルフ」「子ども用のユニフォームの試着体験」を行いました。学生や一般の方27名から相談を受け、82名の方にドリンクの販売を行い好評を得ることができました。



平成29年度 学校祭 同窓会コーナー

緊急

看護教員を募集しています!

緊急で看護教員を募集しています。詳しくは、TEL 052-832-8611までご連絡下さい。

**編集
後記**

投稿して頂いた同窓生の皆様、学校の先生方、在校生の方々のご協力により、会報第7号を会員の皆様にお届けすることができました。

今後も様々な場所で活躍している卒業生の近況をお伝えしていきたいと思えます。ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。

編集委員 青山礼子 林 美子 高田 明 林 恵子
林 鶴子 津崎法一 高口みさき 長尾理加

平成28・29年度同窓会役員

青山礼子	林 美子	高田 明	堀 憲子
永田真理	林 恵子	稲垣郁子	岡元洋子
林 鶴子	三宅裕子	津崎法一	鈴木菜穂子
岡戸敏子	村木真紀	藤牧しのぶ	平野さおり
坂下将太	出石敬子	高口みさき	藤村礼美
田邊美穂	長尾理加		

愛知県立総合看護専門学校 〒466-0826 名古屋市昭和区滝川町36 TEL 052-832-8611

ホームページアドレス <http://www.pref.aichi.jp/soshiki/sogokango/>

印刷：小野高速印刷株式会社